

第二回定例会で質問

震災後1年が経過、まだまだ被災地では復興の目処がたっていません。継続的支援が必要です。風化させることのないよう取り組んでまいります。今年度の待機児童数も大幅な改善が見られず、抜本的な措置の必要性を感じています。地域保育園の再構築など資源の有効活用を視野に入れた取り組みを推進します。

○市立定時制高校中途退学者が42.7%に！

入学時419名中、卒業者は290名で42.7% (179名)の生徒が途中で学校を辞めています。充実した相談体制などの取り組みを行なっていますが、卒業までに至る生徒数が増加しません。

市立札幌大通り高校では市内定時制4校を統合する際、午前・午後・夜間部を設け、陶芸やコンピュータグラフィックスなど、若者が興味を持つような特色ある100講座を開設、中途退学者は7%程度、大学や専門学校への進学率も本市の32%に対して55%になっています。

市立川崎高校には新たに昼間部が開設されることから、先進事例を参考に、魅力ある講座の開設や柔軟な単位認定を行なうよう求めました。

教育長は「生徒の学習意欲が引き出されるような魅力ある科目認定が行なわれるよう情報の収集・提供等に努める」と答弁。

砂田副市長は「各学校が一層活性化されるよう、先進事例も参考とし教育委員会の適切な支援を保ちながら、創意工夫ある取り組みが行なわれるよう見守る」との答弁でした。



◎保育園仮設園舎に月額400万円のリース料？！

公立保育園建て替えのため民間の土地を賃借し、これまで9園、今後2年間で11園を対象に、それぞれ1年9カ月余りの契約で仮設プレハブ園舎を整備しています。

設置のたびに新設設計を行なうため1カ月のリース料が400～500万円と高額な実態を指摘し、社会福祉法人などによる高齢者福祉施設等への転用や、設備等のユニット化による経費縮減を図るよう質しました。

三浦副市長は「民間事業者から賃借出来れば、財政負担軽減が図れること、受け入れの意向がある法人等からヒアリングを行ないたい」と答弁。

ぬまざわ議員は、用地交渉時点から、土地所有者、社会福祉法人、保育所整備部門と連携が図れるようようコーディネートすることを提案しました。



○陸前高田市へボランティア参加！！

トラック協会川崎支部主催によるボランティアバスが運行され、沼沢議員が参加しました。高田の一本松で有名な陸前高田市では、海岸付近に瓦礫が積み上げられ、平地にはいまだ海水が溜まっています。

社会福祉協議会によるボランティアセンターには、全国からバスや自家用車が続々と駆けつけ、各々の持ち場に散って行きました。復興へは、まだまだ時間を要すると感じました。

酒造会社跡地を学校の仮運動場に整備するお手伝いでしたが、作業中に人骨の一部が発見されるなど、震災はまだ終わっていません。市内発のボラバスの運行も視野に入れて、川崎からもできる継続的支援を行なっていきます。



市政にあなたの声を!!

ごあいさつ

諸団体・業界とのヒアリングの真っ最中です。みなさまからは大変示唆に富んだご要望やご意見をいただき、まだまだ勉強不足を実感しています。

昨年いただいた課題には、未だ実現していないものもあり、議会や委員会においてしっかりと取り組んでまいります。

また国民健康保険料や介護保険料の値上げなど、市民のみなさまに負担をお掛けしていることに心を痛めております。

ムダの削減や市有財産の有効活用などを推進し、本市の財政健全化に向けた取り組みを、さらに進めてまいります。

今後もこれまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

《幸病院がオープン!!》

高度医療と年間救急患者受け入れ10000件が可能な幸病院が、川崎駅西口に6月1日オープンしました。議会でも取り上げていた現場到着から病院までの救急搬送時間の短縮が見込まれます。



◎ミュージア川崎! 順調に復旧



昨年の震災で吊り天井の崩落があったミュージア川崎、慎重な設計で復旧工事が進んでいます。議会で進捗状況を質したところ、「進捗率は5月末で35%、年末までに完成し専門家による音響の検証を行う」と当局が答弁。これまでより数倍の強度の補強が施され、来年4月にオープン予定です。市民の皆様が安心できる施設となります。

◎ナノビック開設!!

新鶴見操車場跡地にナノテクの研究施設「ナノビック」が竣工しました。医療や健康分野に資する研究が行なわれます。事業仕訳によって大きく削減された先端技術が、川崎から発信されることになりました。臨海部や「かながわサイエンスパーク」などの研究施設と連携をはかることも議会質問で明らかに。

産・官・学の共同研究も本市と調印されており、今後の成果が期待されています。

*ナノテク：原子や分子のスケールを自在に制御できる技術



◎川崎駅東口にドライミスト設置!!



昨年は東日本大震災のための節電により、設置が延期になっていたドライミスト（空中噴霧装置）が川崎駅東口中央通路の軒下に設置されました。

湿度75%かつ気温28度以上で稼働します。環境都市を標榜する本市への導入を昨年議会で求めていたものです。短い距離ですが、ひんやりとした涼感をお楽しみください。

◎新川崎駅東側T字路の横断歩道存続へ!!

鹿島田駅西口再開発に伴って、新川崎へつながるペディストリアンデッキ（歩行者専用高架道路）が整備されます。歩道橋が整備されるため、T字路の横断歩道の撤去が予定されていますが、利用者からは存続の陳情が……。歩行者が線路側を歩いてくると、高さ6mほどの階段を上ることになり、自転車横断利用者にとっては安全性が懸念されます。存続にむけて頑張ります。

介護・住宅・医療など

暮らしの相談お気軽に!

TEL(599)3984
FAX(588)3222

Mail to k-numa@numa-k.com